

深川消防団ニュース



さきもり

発行 深川消防団
 所在地 〒135-0042
 東京都江東区木場
 3丁目18番10号
 深川消防団本部
 TEL:03-3642-0119
 FAX:03-3641-4422



令和2年 深川消防団訓練確認



新年ご挨拶

団長 平山 敏夫

明けましておめでとうございます。

日頃より、消防団員の皆様、高崎署長をはじめとする署員の皆様、ご支援頂いている消防関係団体、各町会自治会の皆様から温かいご支援ご協力を賜り、心より感謝申し上げます。昨年は、新型コロナウイルス感染症の流行に伴い、未だかつてない事態に遭遇し、日本全体だけでなく世界中が、進むべき道に迷う日々を過ごしました。

しかし、私たち消防団は「自分たちの町は自分たちで守る」をモットーとし、火災、震災、水災といった自然災害が発生した時のために、日々考え、訓練し事態に備えなければなりません。緊張感ある毎日を過ごしながら、細心の注意を払い、感染対策を徹底して、災害現場や訓練へと一致団結して、消防署と両輪で歩んで参りました。

コロナ禍において、「まずは自分たち出来る事からはじめよう」と大きな第一歩は、昨年9月に行われました「防災・救急フェア in 有明ガーデン」です。感染防止に細心の注意を払いながら各種訓練を行い、1,500名近い来場者が訪れました。この自助・共助・公助の三助が地域防災力の向上と、住民の安全安心へと繋がって参ります。本年も、深川消防団活動に皆様方の一層のご理解とご協力を賜りますよう、心よりお願い申し上げます。



深川消防署長
消防監
高崎 剛彦

新年あけましておめでとうござい
ます。深川消防団の皆様におかれまして
は、輝かしい新年をお迎えのこととお
慶び申し上げます。昨年は、新型コロ
ナウイルスによる感染が国内外で拡大
し、特に国内においてはその波が第3
波まで至り、感染拡大防止のために
様々な行動が大幅に制限される一年
で、消防団活動においても、各分団が
鎬を削る消防団操法大会の中止等、各
種活動が大きく影響を受ける状況でし
た。しかしながら、消防団の皆様の一
身のご支援、ご協力により、例年と
はその内容が一部異なるものの、防災
イベント及び各種防災訓練等を滞りな
く、また「新しい生活様式」に則った
形で実施することができました。さら
に、11月の訓練確認においては、皆様
の士気旺盛で統制のとれた部隊活動並
びに連携活動を通じてその実力を十分
確認することができ、その士気の高さ
と使命感を強く感じ、署長としても大
変心強く感じました。

たいと思いますので、よろしくお願
い申し上げます。
結びに、深川消防団が、平山団長を
中心に、これからも地域の防災リー
ダーとして活躍されることをご期待申
し上げるとともに、団員の皆様とご家
族のご健勝、ご多幸をご祈念申し上げ、
年頭のご挨拶とさせていただきます。

人事異動



深川消防署
警防課長
土橋 裕子

皆さま健康やかに新年をお迎えのこと
とお慶び申し上げます。

昨年はコロナ禍において、様々な困
難に直面いたしました。まだまだ、先
の見えない状況が続きそうですが、健
康に十分留意され、本年もどうぞよろ
しくお願いいたします。
(令和2年4月1日付)



深川消防署
警防課防災安全係
浅田 勉

明けましておめでとうござい
ます。
令和2年4月に防災安全係(消防団担
当)となりました。消防団の皆様



深川消防署
2部中隊長
叶 徹

かいご指導、あつい人情に支えられ、
楽しく勤務させて頂いています。本年
もよろしくお願いいたします。
(令和2年4月1日付)

新年明けましておめでとうござい
ます。昨年4月から消防団担当となり、
皆様のご協力で今日まで無事に勤務す
ることができています。今後も、皆様
のお力を頼りに頑張っていきたいと思
いますので、よろしくお願いいたします。
(令和2年4月1日付)



深川消防署
3部はしご隊長
小川 一平

昨年10月の異動で消防団担当となり
ました、3部はしご隊長の小川です。
早くも深川消防団の皆様明るさと頼
もしさを強く感じております。何かと
ご指導いただくこともあるかと思いま
すが、頑張りますのでよろしくお願
いします。
(令和2年10月1日付)



深川消防署
1部特別救助隊員
福島 大地

昨年10月より消防団担当となりまし
た、1部の福島と申します。不慣れな
点ばかりですが、皆様にご協力いた
だき大変心強く感じております。一日
でも早く顔と名前を覚えていただき、
一生懸命頑張っていきたいと思っ
ていますので、よろしくお願
いいたします。
(令和2年10月1日付)

新分団長の挨拶



第4分団長
長里 光一

令和2年4月に、第4分団の分団長
となり、とても重い責任を感じており
ます。先輩方が築かれた深川消防団第
4分団の結束を大事にし、災害時には
分団員皆が一丸となり、万全な対応が
とれるよう日々準備していきたいと思
います。

今後とも、深川消防署、本団の方々
はもとより、地域の皆様方には変わら
ぬご指導、ご協力をよろしくお願い申
し上げます。



第5分団長
渡邊 斉

令和2年4月に、第5分団の分団長となりました渡邊です。就任早々、新型コロナウイルス感染拡大の猛威により、今までとは違う消防団活動を余儀なくされていますが、分団員一人ひとりと協力するとともに、町会・自治会をはじめとした地域の皆様と連携を密にし、地域防災力の向上に努めてまいりたいと思います。
ご指導、ご協力よろしくお願い申し上げます。



第6分団長
長谷川 恵津子

令和2年4月、第6分団長を仰せつかり、日々その重責を感じております。消防署員のご指導をいただき、団員一人ひとりの支援、力を大切にして一丸となって、微力ではありますが、地域防災力の向上に努めて参りたいと存じております。
今後ともご指導、ご鞭撻を賜りますようよろしくお願い致します。



第9分団長
木下 真吾

昨今の消防団員のなり手不足、働き方改革、「With コロナ」といわれる新しい日常生活の中、消防団活動も変化しております。良き深川消防団の文化を残しつつ新しい生活様式に合った分団運営を図りながら、地域の皆様と共に安全安心な地域を目指し、防火防災に努めて参りますので、今後ともよろしくお願い致します。



木場5丁目町会 防火防災訓練

コロナ禍において緊急事態宣言が出される等、しばらくの間、災害以外の消防団活動も多くが中止や延期、縮小等を余儀なくされていきました。しかしながら、感染防止対策を徹底し、「新しい日常」に留意しながら消防団活動も少しずつ動き始め、木場5丁目町会の防火防災訓練がその先駆けとなる訓練でした。

感染防止対策として、マスク、フェイスシールド、ゴム手袋を装着して距離を保ち、訓練用消火器等参加者が触れる部分は、一回一回消毒を実施しながらの訓練となりました。

訓練内容は、VR防災体験車による地震体験、まちかど防災車による初期消火と消火栓体験が行われ、消防



車と消防隊の装備展示等も行われました。参加者は、幅広い年齢層の方々が参加し、真剣な面持ちで取り組まれました。

消防団員は、災害時の情報収集、避難誘導、消火活動、救出活動等で、様々な活動の場においても感染防止対策は求められます。コロナ禍での訓練を通し、消防団員も地域の方と連携し、安全・安心を自ら守る姿勢が大切であることを確認することができました。火災をはじめとした災害は、いつ起こるか分かりません。だからこそ、私たちは日頃の訓練において、地域の方と顔合わせをしながら行う防火防災訓練が大切であることを改めて実感しました。

(第7分団 天野)



訓練確認

深川消防団は出場せよ!



消火活動訓練



積載車



自分たちの町を守る!!

11月1日(日)深川消防団の災害対応能力及び士気について、深川消防署高崎署長による訓練確認が深川消防署において行われました。訓練確認では、通常点検・水防工法訓練・消火活動訓練が行われました。コロナ禍ということもあり、徹底した感染対策を行い、1年の締めくくりとして日頃の成果を各分団発揮しました。高崎署長からは、「規律厳正、士気旺盛であることが確認できました。今後も、消防署隊と連携し地域の安全のため取り組んでほしい。」とのお言葉を頂きました。また、来賓でいらした友の会の皆様からは、「これからも元気よく頼むよ!」との熱いエールも送って頂きました。

第9分団 岩淵 初美
第4分団 熊谷 博人

での取材に参加しまし
くの写真を撮影すること
各分団員の機敏かつ連携
とができて有意義に思い

第10分団 山口 孝志

深川消防団



通常点検

現場指揮本部



水防工法訓練



担架搬送



手引き可搬ポンプ



さきもり編集員カメラマンとしてはじめて。とても緊張しましたが、できるだけ多
を心掛けました。今回取材活動をする中で、
されている動作・訓練を、客観的に見るこ
ました。今後とも宜しくお願いします。

消防少年団

深川消防少年団は、昭和53年に発団し、消防の仕事や火災予防に関心のあ
る小学校1年生から高校3年生までの
団員と団員の育成に熱意を持ったボラ
ンティアの指導者によって構成されて
おり、現在は団長以下指導者15名、団
員57名で活動しています。

令和2年1月26日、武蔵野の森ス
ポーツプラザにおいて東京消防少年団
連盟40周年記念式典が行われ、その
なかで実施された東京オリンピック
2020イベントのロープ結索競技会
では80の消防少年団が参加して日頃の
訓練成果を競いました。深川消防少年団は
敢闘賞を受賞することができました。
現在は感染防止対策を優先し、今

までのような対
面での活動がで
きていませんが、
映像資料による
リモート学習等
により個々に訓
練を重ね、活動
できる日に備え
ています。

(深川消防署
地域防災担当)



東京消防少年団連盟発足40周年記念式典



救命ボート取扱い訓練

令和2年8月1日(土)管内の乗船場
で、台風や大雨による水害を想定した救
命ボート取扱い訓練を実施しました。
夏空広がる快晴のなか、消防署のゴム
製ボートと江東区が保有しているFR
P製ボート2艇を使用し、消防署隊と連
携して合同で搬送、組み立ての基本的
な取扱いの確認と、実際にボートに乗
り込み操船訓練を行いました。

私は、今回初めて救命ボート取扱い
訓練に参加しましたが、最初に見た時
は、本当に組み立てられるだろうか、
川にうまく出して浮かばせられるのか
など少し不安になりました。消防団員
とはいえ、普段、会社務めをしている人
や女性は、自分自身で何かを組み立て
たり、機械に直接手を触れて動かすと
いう経験はなかなかありません。しか
しながら、消防署指導者のもと手際よ
く搬送し、15分程度であったという間に



船体を組み立てることができました。
いよいよ救命ボートを川面に出し、
5人でバランスを取りながら乗船完
了！上流下流の安全監視員の無線によ
る合図を確認したのち、ゆっくりとス
ロットルを開け、操船を開始しました。
「いざー！」という時をイメージしなが
ら団員一人ひとりが真剣に訓練に臨み
ました。感染防止のため、救命胴衣と
ともにマスクを着装しての訓練は、真
夏の酷暑のため予想以上に体力を奪わ
れ、汗でびしょよりになりました。訓
練も終盤にさしかかり疲労が出てきた
頃、橋の上から訓練の様子を見ていた
地域の方から「すごいねー！苦勞様、
頼むよー」と声を掛けていただき、疲
れが一気に吹き飛びました。

平素なかなかできない経験をし、新
たな発見から得たものは大きく、貴重
な訓練となりました。
(第9分団 岩淵)

防災・救急フェア in 有明ガーデン

令和2年9月5日(土)快晴の中、
深川消防署管内で「防災・救急フェア
in 有明ガーデン」が行われました。

オリンピック関連施設が立ち並ぶ有
明地域に、新たに地上5階、地下1階
建ての大規模な商業施設(有明ガーデン)
が令和2年6月17日に誕生し、新型コ
ロナウィルスの影響で様々な活動が制
限されるなか、感染防止対策を徹底
し、初の大規模な防災イベントが開催
され、深川消防署、深川消防団、東京
消防庁音楽隊とともにカラーガイズ隊
も参加し、1,500名近くの来場者
が訪れ、様々な訓練を体験しました。
当日は、前日からの台風の影響で、
雨天の予報があったにもかかわらず、
炎天下で汗ばむほどの快晴に恵まれ、

消防団協力事業所

弊社は、防火・防災に
積極的に取り組んでいます。

https://www.teikoku-soko.jp/ E-mail:info@teikoku-soko.co.jp
PHONE.03-3642-0121 FAX.03-3641-1763

TEISOH 株式会社 帝国倉庫
〒135-0024 東京都江東区清澄 1-5-1

消防団協力事業所



株式会社 **ムトウユニパック**

代表取締役 会長 武藤佳資

私たちは、本社ならびに各事業所を通じ、地域社会への貢献を
目指しております。



本社 / 東京都江東区永代 1-7-12 TEL 03-3642-1141 (代表)
https://www.mutoh-u.co.jp/
支店・出張所/東京中央・東京西・城南横浜・千葉・さいたま・栃木・
前橋・新潟・大阪



当日は訓練参加者が多く、フェア終了時間もまだ行列が絶えることほどありました。私たちは、東京2020大会警戒用の

第8分団は「まちかど防災訓練車」を利用した放水訓練および初期消火訓練を担当しました。まちかど防災訓練車は軽自動車の中に約200リットルの水を貯え、車の荷台上に設定された標的に向かって放水し、この水が循環するシステムとなっており、車一台で完結する便利な訓練車です。訓練参加者には景品が配られ、消防車のペーパー

各種コーナーに分かれて訓練を実施しました。応急救護・三角巾コーナーでは、ソーシャルディスタンスを保ちつつ、待ち時間に簡単なクイズに答えると景品がもらえ、子供達の嬉しそうな笑顔がとても印象的でした。また、三角巾の指導では、主に頭部の止血と巻き方、その他は鼻血が出たときの対応の仕方などを行い、参加者から様々な質問をいただき、関心の高さ、防災意識の高さを実感しました。災害は時を選びません。そのために感染防止対策を徹底して、今後も活動していきたいと思えます。
(第7分団・藤田)

酷暑対策用ポロシャツを着用していましたが、真夏並の強い日照りによって、この年初めて日焼けしました。
(第8分団・庄井)

VR防災体験車での災害体験コーナーについてです。VR防災体験とは、最新のバーチャルリアリティ技術を活用した「これまでにない臨場感あふれる防災訓練」を体験できるものです。このコーナーは、常に20人程の体験待ちの列が出来ていました。体験時間は約3分で、消毒を含むセッティングやVR車への乗降時間を含めると1回のサイクルに約5分程度時間を要します。通常は一度に8人体験できるのですが、感染防止対策として密を避けるため、座席の間隔を一つ空けて一度の定員を4人としていたので、列に並び始めてから体験時間まで約20分程度待つこととなります。それでもVRで災害体験が出来るVR防災体験車は日本国内で1台しかないことから、来場者の関心も高く、真夏並の暑さにも負けずVR体験を待つ参加者の姿が印象的でした。
(第9分団・木下)

VRⅡ仮想現実というだけあって、リアルな地震体験により途中でリタイヤする小さなお子様もいらつしやいましたが、参加した皆様は、地震の恐ろしさや家具転倒防止の重要性を再認識していました。
(第9分団・岩淵)

息子も一緒に体験し、はじめは、体験することを怖がっていましたが、私がやっている様子を見て、やってみたくなりました。いつ人災天災によって災害に遭遇するかわかりません。訓練を体験することで、いざというときに冷静に対処できるのだと思いました。とても楽しく貴重な体験ができました。(豊洲在住Yさん)とあったのが印象的でした。
急速に変化し続けている有明地区で、自らの防災意識を高めるきっかけとなった今回の「防災・救急フェア in 有明ガーデン」ですが、今後、自助、共助、公助の三助が強靱な絆となつて町の安全・安心を守っていくきっかけとなつていくことを願いつつ、任務にあたった深川消防署員、深川消防団員の皆様におかれましては、暑い中、本当にお疲れ様でした。
(第9分団 岩淵)

消防署員、消防団員が丸となった取り組み、来場者の皆様も真剣に訓練に取り組む姿が多くみられました。1日のうち何度も来場する方や、「来年もありませんか？」などと声を掛けられ、今回の訓練に参加して興味をもつ

ていた。ただき、防災意識に意欲を沸かせて頂いたのでは無いでしょうか？来場者からのコメントで、「子供と一緒に、まちかど防災車での放水体験をはじめました。3歳になる息子も一緒に体験し、はじめは、体験することを怖がっていましたが、私がやっている様子を見て、やってみたくなりました。いつ人災天災によって災害に遭遇するかわかりません。訓練を体験することで、いざというときに冷静に対処できるのだと思いました。とても楽しく貴重な体験ができました。(豊洲在住Yさん)とあったのが印象的でした。
急速に変化し続けている有明地区で、自らの防災意識を高めるきっかけとなった今回の「防災・救急フェア in 有明ガーデン」ですが、今後、自助、共助、公助の三助が強靱な絆となつて町の安全・安心を守っていくきっかけとなつていくことを願いつつ、任務にあたった深川消防署員、深川消防団員の皆様におかれましては、暑い中、本当にお疲れ様でした。
(第9分団 岩淵)



消防団協力事業所

弊社の社員も消防団員として活動しています。

社員一人ひとりが、防火・防災の知識・技術の向上に取り組んでいます。

ご宿泊・ご婚礼・ご会合等、お気軽にお問い合わせください。

〒135-0016 東京都江東区東陽 6-3-3
03-5683-5683 (代表)
www.hotel-east21.co.jp

ホテル イースト21東京

消防団協力事業所

「大震災はいつ起こるか
分からない」

丸八倉庫株式会社

江東区富岡 2-1-9
HF門前仲町ビルディング4階

令和2年11月24日
 褒章 藍綬褒章 受章
 副団長 田口 賢治様



令和2年秋の褒章受章者紹介

令和2年11月24日
 叙勲 瑞宝単光章 受章
 前副団長 椎名 貞雄様
 久美子様



令和2年秋の叙勲受章者紹介

◆消防総監賞
 〈功績表彰〉(3名)
 第4分団 分団長 小長里光
 第3分団 副分団長 井柳博一
 第8分団 副分団長 庄井勤
 〈優良表彰〉(10名)
 第5分団 部長 唐文郎
 第8分団 部長 三嘉良
 第8分団 部長 佐藤輔
 第4分団 部長 高野大
 第4分団 部長 亀野俊
 第9分団 部長 矢野弘
 第6分団 部長 山上智健
 第4分団 部長 山崎浩靖
 第1分団 部長 猪瀬孝泰
 第5分団 分団長 渡邊 齊

令和2年 深川消防団受賞者紹介

令和2年11月4日
 東京都消防褒賞 受賞
 第9分団 副分団長 小濱 哲利
 第2分団 副分団長 佐竹 治典



令和2年 東京都消防褒賞受賞者紹介

岩崎 勝様 (元副団長)
 令和2年5月27日 ご逝去
 菊池 哲様 (元副団長)
 令和2年春の叙勲受章
 令和2年6月11日 ご逝去
 大屋 京嗣様 (元分団長)
 令和2年6月23日 ご逝去

◆令和2年 退団者
 第5分団 團員 奥貫 二猛
 第1分団 副分団長 長谷川 圭祐
 團本部 團員 今野 信一
 第4分団 分団長 齋藤 一行
 第4分団 分団長 古屋 良義
 第5分団 分団長 植原 信一
 第4分団 分団長 佐竹 恵義
 第5分団 分団長 渡邊 鉄男
 第6分団 副分団長 青柳 泉
 第8分団 團員 保上 広
 第8分団 團員 保宮 一
 第9分団 團員 山波 宏治
 第1分団 團員 松村 加奈子
 第5分団 團員 木村 真弓
 第3分団 團員 飯塚 千恵美
 第9分団 副分団長 金崎 弘
 第10分団 副分団長 宮崎 弘

◆(勤続25年) (2名)
 第2分団 部長 山田 佳邦
 第6分団 分団長 長谷川 惠津子
 ◆(勤続20年) (3名)
 第6分団 副分団長 岡部 健二郎
 第6分団 部長 山本 香代子
 第6分団 班長 岡野 弘之
 ◆(成績優良分団)
 深川消防署長表彰
 第3分団、第4分団、第10分団
 深川消防団長表彰
 (成績優良分団)
 第1分団、第2分団、第6分団

さきもり編集委員

分団名	任 務	職 名	氏 名
團本部	委員長	赤澤	光幸
團本部	委員長補佐	副団長	中澤 聡
第1分団	委員	團員	中村 哲也
第2分団	委員	團員	今井 寛隆
第3分団	委員	團員	中島 沙江子
第4分団	委員	團員	熊谷 博人
第5分団	委員	團員	梅内 美園
第6分団	委員	團員	吉田 仁美
第7分団	委員	副分団長	藤田 享子
第8分団	委員	副分団長	庄井 勤
第9分団	委員	團員	岩淵 初美
第10分団	委員	團員	山口 孝志

編集後記

消防署や消防団で行われているイベントが、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、中止や延期又は縮小されましたが、深川消防団では、深川署員の皆さんのご協力をいただき、新型コロナウイルス感染症の感染防止を図りながら、工夫をした訓練を継続的にを行い、街の安全安心の向上に努めていることを実感しています。

その地域に住んでいる住民であるからこそ、勤務している従業員であるからこそ、分かる事があります。混乱した災害の場においては、その貴重な情報が活かされます。消防団員は地域の住民等で組織され、地域に密着した活動を行っていることを改めて感じています。

(第一分団・三澤)